



2017年6月1日 NO.3
 はあと保育園吉敷
 〒753-0813
 山口市吉敷中東1丁目1-2
 TEL/FAX
 083-924-3962
 http://w
 w.seirankai.or.jp/_hi
 園長 露 英朗

6月上旬には梅雨入りとなり、戸外での活動が制限されますが、梅雨の合間を見てできる限り散歩等戸外の活動も行っていきたいと思えます。6月は作物・植物が育つ時季です。5月下旬に園隣の小さい畑に赤・黄ピーマン、プチトマト、きゅうり、とうもろこしを植えました。また、ささやかですが、朝顔の緑のカーテン用のネットも張りました。

それぞれのクラスの様子や6月の計画は裏面の通りですが、子供たちは園生活にも慣れ、お友達同士で楽しそうに笑いあっている姿も見られるようになりました。子ども達と元気に梅雨を乗り越えましょう。

行事予定

2日(水) 身体測定

6日(火) 歯科検診

8日(木) 英語教室

16日(金) 運動会予行練習

22日(木) 英語教室

25日(日) 運動会
(OYA塾同時開催)

26日(月) 避難訓練

英語教室

5月から英語教室を再開しました。先生は市内でカテリーナ英語教室を運営しておられる上田エカテリーナ先生です。先生の都合のつかないときは、同教室の別の先生が代わりに来られます。主にうみ組の園児を対象として英語を勉強しますが、様子を見ながらほし組の参加も検討していきます。



(たいよう組)
くぼた まおくん

5月の英語教室の様子



運動会

日時：6月25日(日) 9:00~11:30
 場所：スポーツ文化センター武道館

予定している主なプログラム
 よーいドン!、げんこつ山のまめだめぎ、動物の親子でGO!、おすしのピックニック、おさんぽペンギン、ちっちゃな王様・王女様、障害物競走、玉入れ、など
 (決定し次第連絡します。)

おねがい

- すべての持ち物に記名をしてください。消えたり薄くなっているものがないか確認して大きな字で記名をお願いします。
- 各クラスからのお願い
- うみぐみ⇒毎日ハンカチを子どものズボンのポケットの中に入れてください。
6月の持ってくるものは、お尻ふき1つとビニール袋1つです。
- ほしぐみ⇒ティッシュ1箱とおしりふき2つを持ってきてください。
- たいようぐみ⇒6月はおしり拭き1つ、ティッシュ1箱を持ってきてください。
汗をかきやすい時期となり、着替えることが多くなってきます。記名をご確認の上、肌着や衣服を各3着以上ロッカーの中に入れてください。
紙パンツも多めにに入れておいてください。

う み



5月の様子

・お友達との関わりが増え、名前を呼び合って簡単なごっこ遊びを楽しむ姿も見られるようになってきました。

・運動会の練習を始めています。「ママとパパに見せるんよ!」と毎日がんばっています。うみ組さんは今年が最後の運動会。応援よろしくお祈りします。

6月のねらい

・身体を十分動かして遊ぶ。
・梅雨期の健康や安全に留意し、気持ちよく過ごせるようにする。

6月の計画

・指先を使った製作を行う。
・運動会に向けて戸外や室内で身体をしっかりと動かす。

ほ し



5月の様子

・安心して園生活を送れるようになり表情が柔らかくなってきました。

・散歩にたくさん出かけて、戸外遊びを楽しむことができました。

6月のねらい

・保育者や友達と一緒に好きな遊びや体を動かす遊びを楽しむ。

・手や指先を使った遊びを喜んでいます。

6月の計画

・全身を動かす遊びやダンスを楽しむ。

たいよう



5月の様子

・個々によって生活リズムは違いますが、保育園での生活リズムが整ってきてよく遊べるようにもなってきました。

・探索心が出てきて、お部屋の外や他のクラスへ行こうとする姿が見られるようになってきました。

6月のねらい

・梅雨期の衛生面や一人ひとりの体調に留意し、快適に過ごせるようにする。

・保育者との安定したかかわりのなかで、興味のあるものに触れたり、体を動かしたりして遊ぶ。

6月の計画

・運動会の体操やふれあい遊びなどを楽しむ。

・手先を使った遊び、感触遊びを楽しむ。



OYA塾

5月27日に、紙コップで腕時計を作りました。

6月10日の「ときの記念日」を念頭に企画しましたが、園児のお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんも参加され、楽しく2個ずつ作りました。完成した後の参加者の様子です。

なお、6月のOYA塾は「運動会に参加しよう」です。大勢のご参加をお待ちしています。

交流コーナー

Q. 食事に時間がかかり、毎日イライラしてしまいます。好き嫌いはないのですが、噛むのが遅くて、なかなか食事が進みません。

A. お母さんがイライラしていることを、子どもは敏感に感じます。食べることが、緊張や義務感につながっているとしたら、残念です。幼い頃は、食事の量、摂取時間に差があるのは当然で、これは成長と共に変わってきます。親が準備しただけの量が、子どもにとって多すぎる場合もあります。今は、好き嫌いなく一生懸命食べてくれる「子どもの、ありのまま」を誉め、見守り、楽しい食卓を心がけましょう。そうすることで、子どもはニコニコと食事を食べ、食べる楽しさや幸せを感じ、満たされることになるのではないのでしょうか。お母さんも一緒に、ごく自然に食事をする 것도大切です。「ちゃんと食べるかどうか」と不安いっぱいで見られていたら、子どもも緊張してしまいますから。